



設定

- ・通知エリアの設定
- ・受信内容選択
- ・利用規約
- ・利用者選択 等

お知らせ機能

同報無線の内容を掲載
※設定から表示内容を編集できる

防災情報

気象情報、通行止め、
各河川の水位がわかる

- ・気象庁
- ・SIPOS-RADAR
- ・道路冠水通行止め情報
- ・川の水位情報



天気予報

今日の天気、降水確率、
最高/最低気温がわかる
画像をタップ→
静岡地方気象台のHPへ



アプリの使い方や
避難の支援に
関する紹介ページ
二次元コード

登録区分

一般利用者のほか、避難の支援が
必要な方向けの登録区分があります。
詳細は、二次元コードからご確認ください。

3パターンの区分を設定

リンク集

停電情報やマップ、富士市の
SNSなどがわかる

- ・県GIS,ふじタウンマップ
- ・停電情報
- ・災害用伝言ダイヤル
- ・市HP,市SNS 等

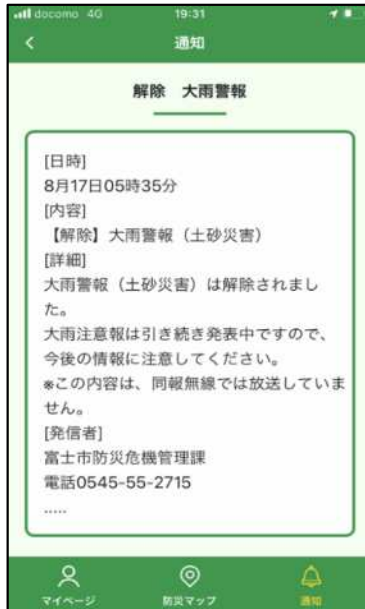
防災ふじの使い方 ②

お知らせ機能で同報無線の放送内容を確認しよう

屋外スピーカーや防災ラジオから流れる情報を**プッシュ通知**で確認できます。
文字で確認できるため、正確な情報が入手が可能です。

受け取れる情報

- ⚠ **緊急情報** (気象警報、避難指示など災害に関する情報)
- 🔊 **同報無線情報** (行方不明者の捜索、熱中症予防のお知らせなど**平時の情報**)
- 🔔 **その他の防災情報** (道路冠水情報など**同報無線では放送しない防災情報**)



富士市 防災 アプリ 防災ふじ



いざという時に役立つ**様々な便利機能**を搭載！

お知らせ機能

同報無線の放送内容が
通知で届く！



防災マップ機能

ハザードマップや避難
施設の確認ができる！



避難所状況確認機能

各避難所の開設・混雑
状況が分かる！



災害リスク検索機能

地点の災害リスクが
確認できる！



事前に**ダウンロード**をお願いします！



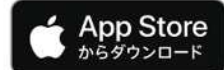
富士市防災アプリ



Androidはこちら



iPhoneはこちら





防災ふじの使い方 ①

身近な場所の災害リスクを知ろう

富士市防災アプリでは**2つの方法**で災害リスクを調べることができます。
自宅の**災害リスク**を確認しましょう！



アプリ紹介
市ホームページ
二次元コード

方法 1 調べたい地点から検索する



- ①「防災マップ」を選択
- ② 地図上の調べたい場所を長押し

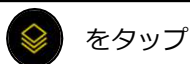


- ③ その地点の災害リスクが一覧で表示される

NEW
全ての河川氾濫と
家屋倒壊ゾーンが
確認可能に！



方法 2 災害の種類から調べる



をタップ



をタップ



調べたい災害の を
タップし、 をタップ



選択したハザードマップが
表示されます

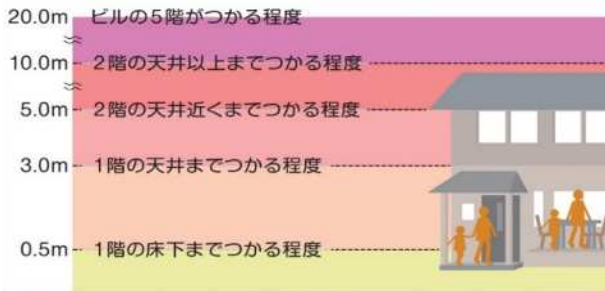


洪水

河川洪水は、氾濫が起こってからでは避難が間に合いません。川の水位の上昇に合わせて市から**避難情報**を発令するので、早めに安全な場所へ避難してください。

※自宅の浸水リスクを参考に**避難先**を決めておきましょう。

● 浸水深の目安



Work!

調べた結果を
記入しましょう！



洪水 (m～ m未満)

内水 (m～ m未満)

津波 (m～ m未満)

地震 ()

土砂災害 ()

溶岩流 (エリア)

融雪型火山泥流 (エリア)

富士山噴火

火山の噴火によって高温のマグマが流れてくる現象を**溶岩流**といいます。避難対象エリアと想定される影響は表のとおりです。第1～3次避難対象エリアは**噴火前避難**、第4～6次避難対象エリアは**噴火後避難**となりますので、覚えておきましょう。

	避難対象エリア	想定される影響
噴火前避難	第1次避難対象エリア	想定火口範囲
	第2次避難対象エリア	溶岩流が1時間以内に到達
	第3次避難対象エリア	溶岩流が3時間以内に到達
噴火後避難	第4次避難対象エリア	溶岩流が3～24時間に到達
	第5次避難対象エリア	溶岩流が24時間～7日に到達
	第6次避難対象エリア	溶岩流が7日～最終的に到達

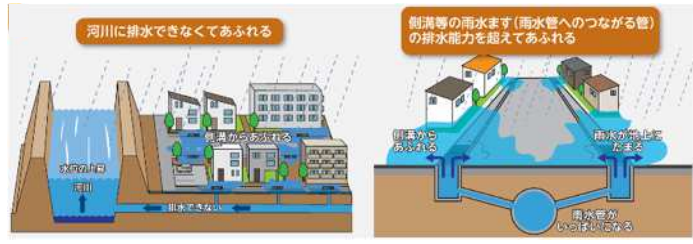
また、積雪期に噴火が起こると、雪解け水が洪水のように高速で流下する現象(**融雪型火山泥流**)が発生すると想定されています。**事前避難対象エリア**の方は**噴火前避難**となります。

詳しくは「富士市富士山火山防災マップ」をご覧ください

内水

大雨の際、河川の水位が上昇することで雨水を排水できず、側溝や水路等から水が溢れてしまうことを**内水氾濫**と言います。

道路が冠水して通れなくなるおそれもあるので、普段からよく通る道路の浸水想定も確認しておきましょう。



津波

津波避難の原則は、“**危険なエリア(津波避難対象区域)**の外に**出ること**”です。一方、時間の猶予がなく避難が間に合わない場合は、近くの高い建物へ避難するようにしましょう。

富士市防災アプリで**ハザードマップ**や**津波避難施設**の場所を確認することができます。



地震

富士市で想定されている南海トラフ地震による最大震度は、**6弱**または**6強**です。それぞれ以下のような特徴があります。

6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し倒れる物もある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり。建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多い。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

土砂災害

土砂災害とは、がけ崩れ、土石流、地すべりのことをいい、ほとんどは、雨や地震によって突然発生します。

災害リスクがある場所にお住まいの方は、気象情報や市からの避難情報に注意して、早めに**危険エリアの外**へ避難しましょう。

